



宮教組です

2020年8月

はじめまして。わたしたちは、公立小中学校の教職員でつづいている「宮崎県教職員組合」（通称：宮教組）です。

わたしたちは、「子どもたちがのびのびと安心して過ごせる学校」、「教職員が助け合い、励まし合いながら安心して働ける学校」、「だれもが安心してくらせる社会」をめざし、さまざまな活動に取り組んでいます。

ここでは、宮教組が昨年行った「職場実態調査」の結果の一部を紹介します。

わたしたちは昨年、教職員の働き方に関する実態を県当局へ伝え、実態の改善に向けた「大幅な業務量の削減」や「教職員定数増」を訴えました。

今年も50%以上が「5分以内」

～ 昼休みの実質的な休憩時間は？



「ふだん、昼休みの実質的な休憩時間は何分とれていますか？」

	割合 (%)	
	小	中
5分以内	52.0	25.5
6分～15分	33.5	35.3
16分～25分	9.5	29.4
26分～35分	2.8	2.0
36分～45分	1.1	3.9
無回答・不明	1.1	3.9
合計	100.0	100.0

今年も小学校の50%以上が「5分以内」と回答しています。

中学校でも25%が同様の回答をしています。

昼休みは職員の休憩時間というよりも、児童・生徒の長い休み時間であり、職員にとっては貴重な空き時間(学級事務や学校業務に集中できる時間)という感覚になっている実態があります。

「ふだん、自宅に持ち帰ってどれくらい仕事をしていますか？」

「学校でしかできない仕事」も増え、学校に残って仕事をしている一方で、持ち帰り仕事も減っていません。

右の表を見ると、「退庁時刻が早い人が持ち帰り仕事が多いとは限らない」という相関関係は今年も同様です。

仕事をしようと思えば、その仕事には限りがなく、家庭環境や自分の体力と相談しながら仕事を進めているという実態があります。

(分)	
退庁時刻と持ち帰り(1日平均)	
定刻退庁	17分
午後5時半前	48分
5時半～6時前	30分
6時～7時前	49分
7時～8時前	46分
8時～9時前	15分

「前例のない」状況が続き・・・



2020年度は、新型コロナウイルス感染症対策による臨時休校措置への対応をはじめ、前年度末から、今年度にかけて、学校現場では前例のない状況が続いています。

子どもたち、保護者、教職員それぞれの体力的、精神的負担は、日常生活からは想像できないほど大きなものだと思います。

課題は授業時数の補完？

このような状況の中、組合員からは、「限られた時間で、どのように教育課程を実施していくか」ということが、今、学校の課題になっているという声を聞きました。

教職員も教育行政に携わっているみなさんも、「学びの主体は子どもたち」と公言しています。そのことは、頭では理解しているつもりなのですが、「臨時休業で遅れた授業をどうやって補完するのか」が、残り9カ月の学校での優先課題になっているとのことでした。

組合と「話」をしませんか

宮教組は現在、県内各地の学校現場から、「LINE 公式アカウント」や電話を通して情報をいただき、それを再発信しています。

組合員以外の方からもよく電話相談があります。


相談内容の多くは、自分の学校での実態が、他の学校と同じものなのかということです。

わかる範囲で回答していますが、多くのみなさんから連絡をいただくと、相談者の安心にもつながると思います。

みなさん、組合に一度相談してみませんか。

LINE 公式アカウント「こんにちは宮教組です」を開設しました。

みなさんからの「電話」、あるいは「LINE」を使った連絡をお待ちしています。



LINE 公式アカウント
「こんにちは宮教組です」
QRコード

困ったことや悩みごとがありましたら宮教組へ

宮崎県教職員組合(宮教組)

〒880-0903

宮崎市太田1丁目3-39

Tel: 0985-77-5577

Fax: 0985-77-5578

E-mail: myzkmtu@lime.ocn.ne.jp

URL <http://miyakyouso.com/>

